

TOKYO
東京 3月25日(土)
日本教育会館
開演 13:00 (受付 12:30)



Association of
Risk Management
Japan

OSAKA
大阪 3月26日(日)
大阪科学技術センター
開演 13:30 (受付 13:00)



基調講演



企業の成長と改革は、効果的リスクマネジメント戦略にあり!

2017年度 RIMS理事長 ノウェル・シーマン

全体講演

リスクマネジメントの実効性を高める組織マネジメントのあり方

フォーサイツコンサルティング 代表取締役
一般財団法人リスクマネジメント協会 理事

浅野 睦

講演概要

リスクマネジメントの役割は、企業の財産を守るのみならず、リスクや不確実性を理解し管理する手法へとこの10年で大きく発展した。企業は、効果的リスクマネジメント機能を持つことにより、価値を創造し将来の運営にプラスの影響を導くことが可能となった。本講演では、RIMS2017年度理事長が、企業の戦略的目標、成長、改革の達成にいかによりリスクマネジャーが貢献できるかを解説する。

現場がリスクを認識した上で実効性高くマネジメントを行うためには組織的な取り組みが欠かせない。どのような組織マネジメントが求められるのかについて解説します。現場管理者と間接部門の役割、リスクマネジメント委員会が果たすべき機能についても触れ、リスクマネジメントを前向きに取り組む企業の特性についても解説する。

基調講演 講師紹介

(東京・大阪)



Mr. Nowell Seaman
ノウェル・シーマン

プロフィール
ノウェル・シーマン氏は、世界最大規模の肥料製造業者 Potash 社のグローバル・リスクマネジメント部の部長である。リスクマネジャーとして20年の経験を持ち、同社のエンタープライズ・リスク、オペレーショナル・リスク、保険管理、事業継続計画（BCP）、緊急時対応の責任者として活躍している。1995年には、カナダ・米国共同によるリスクマネジメント教育プロジェクトの一員として、ロシアのモスクワにて行政担当者にリスクマネジメント教育を行うとともに、ロシアのリスクマネジャー育成に貢献した。

14:50 ～ 学生研究発表

(テーマ) ESG投資と企業のリスク	(テーマ) CSRの新たな動き：国連SDGs (Sustainable Development Goals) の現状と展望	(テーマ) 自動運転車普及に伴う自動車メーカーの責任拡大と保険利用可能性についての考察
環境（E）、社会（S）、企業統治（G）といった非財務情報を活用した今注目のESG投資。本報告では、投資家にとって、ESG投資がどのような意義を持つのかについて、投資対象企業のリスクの観点から分析した。 東京経済大学 経営学部 柳瀬典由ゼミナール	SRにおいて国連の動きは重要なものの一つである。本年、国連はこれまでのMDGsから新たにSDGsへと、その目標を変更した。この方針変更が企業、行政、そしてNPO／NGOのCSR活動に与える影響を探る。 明治学院大学 リスクマネジメント研究グループ	自動運転車の欠陥による事故に備え、自動車メーカーがPL保険等を活用してどのようにリスク管理を強化すべきかを考察する。自賠法も前提に置き、保険会社のリスク処理支援の方法とそれらの関係性にも着目する。 明治大学 商学部 中林真理子ゼミナール

Room A	Room B	Room C
16:00 1 東A1 人工知能(AI)ビジネスのリスク、共存できる社会へ ～AIによる仕事の代替にどう向き合うか～ 人工知能(AI)による仕事の代替リスクは、知識労働の約半数とも言われる中、いかにAIと共存し人類にとって豊かな社会を実現するか、新たなリスクマネジメントを個人、企業、国家、人類といった視点で検証する。 東京 企業リスク研究会 リスクマネジメント・イニシアティブG	東B1 難民問題が抱えるリスク 2016年の欧米の動き（①米大統領選挙の推移②英の脱EU③西欧諸国の民族主義台頭）を見ると、世界はアンチグローバルISMに動いているように思える。「難民問題」を軸にこれらを分析し、日本の歩むべき道を探った。 東京 企業リスク研究会 難民問題グループ	東C1 平均寿命と健康寿命の差の拡大リスク 高齢化が進む上で平均寿命と健康寿命の差が少しずつ開いている。この差を縮めることは経済的・社会的コストを抑えることにつながる。今回は具体的事例をもとに、いかに自ら可能な範囲で傷病リスクを回避するのかを検証する。 東京 企業リスク研究会 リスクマネジメント国際標準 研究会
16:40 2 東A2 戦略経営のためにBCMを生かす実践的手法の研究(その2) ～熊本地震により影響を受けた企業の調査と簡易手法の検証～ 東日本大震災以降5年間の研究を通して、実効的なBCMと戦略経営のための簡易診断手法を開発し実適用してきた。今年度は、熊本地震により事業継続に影響を受けた企業の調査を行い、新たな学びを得るとともに簡易診断手法の検証を行った。 東京 企業リスク研究会 BCPグループ	東B2 「世界平和と国民の幸せ」をERM手法で斬る ～「紛争と不幸」の根源は「差別と格差」である～ 近年、世界各地で紛争・テロが多発している。国内では自殺、殺人等、生命を脅かす犯罪が発生している。そこで、世界平和と国民の幸福の阻害要因を究明し、その対策（自助・共助・公助）をERM手法で探る。 東京 企業リスク研究会 ERM研究会	東C2 地域包括ケアと貧困問題 ～日本は貧困に温かい国か冷たい国か？～ 地域包括ケアシステムの構築が急がれる中、非正規雇用者の増大等、介護を支える側の貧困が大きな影を落としている。この貧困について問題点を抽出し、日本の制度や海外の事例をもとに、この問題の解決策を提言する。 東京 メディカルリスク研究会 メディカルグループ
17:20 3 東A3 電力システム改革と電力の自由化で、電力料金は安くなったのか？ ～再生可能エネルギー導入に潜むリスク～ 再生可能エネルギーの大量導入は、電力料金への上乗せやシステム負荷など多くの課題がある。短期的には水力発電を活用し、再生可能エネルギーは、長期的視点で課題解決し電力システムの中枢にしていこうことを提言する。 東京 企業リスク研究会 エネルギーリスクG	東B3 エンジニアの不祥事リスクマネジメント研究Ⅰ ～エンジニアモラル認証制度の研究～ エンジニアの絡む不祥事に対して、エンジニアが不祥事に手を染めない組織づくりを確立するための仕組みとして、認証制度を設けることを研究します。初年度の研究は調査報告と制度実現に向けた課題等を探索する。 福岡 企業リスク研究会 不祥事リスク研究グループ	東C3 地域とのつながりとケアマネジメントとの関係 昨年は、社会保障制度から見たソーシャルキャピタルの影響について研究した。今回はそれを深め、多様なサービス利用状況の調査結果をもとに居宅介護支援事業所の利用者に対するケアマネジメントとソーシャルキャピタルとの関係を検討する。 東京 メディカルリスク研究会 ソーシャルキャピタルグループ

18:00

～19:30



Association of
Risk Management
Japan

国際交流会



*** 発表スケジュール、発表内容、発表者などは変更となることがあります。***

18:00

～19:30



Association of
Risk Management
Japan

国際交流会



RIMS
Japan Chapter